



国際ロータリー第2600地区
上田六文銭ロータリークラブ
 Rokumonsen Rotary Club

2016-17年度
 国際ロータリー会長
 ジョン F. ジャーム

第2600地区ガバナー 原 拓男

【事務局】

〒386-0025 長野県上田市天神 4-24-1
 上田東急REIホテル 3F
 TEL 0268-25-6000 FAX 0268-25-6002
<http://www6.ueda.ne.jp/~ueda6rc/>
 《例会日》毎週火曜日 12:30~13:30
 《例会場》上田東急REIホテル 2F
 《創立》1997年2月18日

●会長 西澤 文登 ●幹事 松澤 一志 ●会報委員長 中澤 信敏 ●副委員長 鹿志村恭彦 ●委員 中沢利樹男／斉藤恵理子

例会日誌

司 会 中澤 信敏君
 開会点鐘 西澤 文登君
 斉 唱 「上田六文銭 RC の歌」
 ビジター(定時受付)
 上田西 RC 宮下貞夫君 森 芳樹君
 小諸 RC 小林 潤君
 ゲスト
 西澤尚夫君ご友人
 市議会議員 松山賢太郎様
 笠原一洋君令夫人 笠原世為子様
 飯島俊勝君令夫人 飯島 京子様
 杉山 裕君令夫人 杉山 恵子様
 中澤信敏君長女 中澤綾乃さん
 長男 宏亮君
 鹿志村恭彦君令夫人 鹿志村由佳様
 長女 光ちゃん
 次女 優ちゃん
 腹話術師 ヒロ・タッキーこと
 滝沢 博文様

ラッキー賞
 提供者 西澤尚夫君



松山賢太郎様

プログラム
年忘れ家族夜間例会

会長挨拶

「真田丸」の脚本と時代考証

西澤 文登君



今宵はご来賓・ご家族の皆様、ようこそお越しくださいました。ごゆっくりお過ごしいただきたいと存じます。親睦会場委員の皆様、楽しい企画をありがとうございます。私も楽しませていただこうと思っております。

今年とはにかく「真田丸」で始まり大いに沸いた一年でした。先日最終回が放映されましたがご覧いただけたと存じます。真田丸ロスという言葉が聞かれますが、来年から上田市をどうするか、経済をどう盛り上げていくか、市民全体の課題です。

大河ドラマ「真田丸」は、こんなことはあり得ないだろうと思うようなストーリー展開もありましたが、一年を通して高視聴率を維持し、上田の名を天下に売ってくれました。上田城跡を始め史跡にも数多くのお客様に来ていただき、お土産品の売り上げも好調だったようです。テレビの影響がいかに大きいものかを示しましたが、ただこれが隅々まで行き渡ったかということ、どうもそうは行かなかったようで、例年と変わらないという所もあったようです。むずかしいものですね。

「真田丸」最終回を前に先週は数々の催し

がありました。出演した俳優さんをお招きしてのトークライブは人気を呼び、遠く県外からの応募も多かったと聞いております。最終回放映の直前ですが、18日の午後、真田町中央公民館で今回の大河ドラマで歴史考証を担当した3人の先生方をお招きしての座談会が行われました。ドラマですので脚色されて作品になるのですが、動かしがたい史実があるわけで、制作側の意図と史実とを矛盾がないようにするというのが歴史考証家の役割です。面白いお話を沢山聞くことができました。

その中の一つ。ドラマの中で絵図面や書状が多く出て来ますが、これを監修するのも歴史考証の仕事だそうです。私もそうですが、聴取者には歴史に興味のある人が多くいらっしゃると思います。中に歴史マニアという方もいらっしゃるって、合戦の際の陣取り図や絵図面に間違いがないかなど細かく検証される方もいらっしゃるようで、月曜日はクレームの電話が寄せられているのではないかと緊張する日だったそうです。ドラマでは図面などはチラッと登場させるだけであってもマニアは静止画像にして検証するのだそうです。いろいろな楽しみ方があるんですね。

歴史考証家の中で意見が割れるということもあったそうです。例えば関ヶ原合戦の前に真田父子が犬伏で東西に分かれ、昌幸と信繁が上田に帰る前に沼田城に寄ろうとしたが、小松姫が頑として入城を許さなかったという話がありますが、「小松姫は人質で大坂にいたので不可能だ」という意見と「いや可能だった」という意見です。あれだけ有名な話ですので小松姫を登場させないわけにはいかないだろうということで、どさくさ紛れに大坂を脱出させるというストーリーにしたようです。さもあらんと視聴者に不自然さを感じさせないところが脚本家の腕というわけです。時代考証の先生方も三谷幸喜さんの素晴らしさは一様に認めていました。とにかく毎回面白く楽しませていただきました。



幹事報告

松澤 一志君

1. RI より
 - ・アトランタでロータリー財団 100周年を一緒に祝いましょう
 - ・コーディネーターニュース 1月号
2. 米山奨学会より
 - ・ハイライトよねやま 201号
3. UCV より
 - ・メンテナンスのお知らせ

恵送

1. 小さな親切運動様
「作文コンクール作品集」

全会員配布物

1. 当クラブ会報 第920号
2. 例会場変更のお知らせ
次回例会 1/10 例会場は3F『信濃の間』になります

その他

1. 事務局 12/27～1/4 まで年末年始休暇



出席・ニコニコBOX報告

生川 秀樹君

	ベース	欠席	メイク	出席率
本日	23	6	-	73.91%
前々回	23	6	2	82.61%

- 西澤文登君 ご家族の皆様ようこそお越しくださいました。委員の皆様準備ありがとうございます。
- 松澤一志君 半年間例会運営にご協力いただきありがとうございます。
- 田中栄一君 今年度の嫌な事を忘れて楽しくやりましょう。
- 飯島俊勝君 真田丸も終わりました。今後の上田勢いを持続してください。今日はお世話になります。
- 斉藤恵理子君 一年間、お世話になりました。真田丸口スをふっとばしましょう！
- 生川秀樹君 Happy Holidays 今夜は楽しみましょう。

笠原 一洋君

中沢利樹男君



プログラム

年忘れ家族夜間例会
～アトラクション～

『腹話術師 ヒロ・タッキーさん』

本名 滝沢 博文
上田市真田町出身、現在住。腹話術サークル「笑いのワ」長野&上田代表。NPO 法人日本腹話術師協会理事。同会公認基本腹話術インストラクター。

脱サラ後に、本格的に腹話術に取り組むべく2週間、本場のアメリカへ武者修行。腹話術の最大規模の世界大会「ベント・ヘブン・コンベンション」では、一日の準備で英語にてステージ出演。ロサンゼルス、ハワイ、シンガポールなどの海外でも在外日本人や現地の方に賞賛される。2010年には上田市の姉妹都市である中国・寧波(ニンポー)市で、友好晩餐会での披露や寧波大学で特別公演も行う。

敬老会や子ども会、福祉施設、イベントなどにて、年間90ヶ所で公演披露。「腹話術のおもしろい世界、感動の世界を伝えること」をモットーに癒しや笑いを提供し、手品を交えての腹話術は好評を博す。海外ではその国の言語で公演することが目標。多言語での国際交流活動や真田氏三代歴史語り部にも取り組む。



